

星や月の観察のしかた

関連単元

夜空を見よう

4.月や星

6.月と太陽（6年）

観察する日までにしておくこと

夜の活動になるので、安全面での対策が特に重要である。また、観察もできるだけ短い時間で要領よくできるようにしなければならない。そのためには、事前の準備が特に大切である。

○家庭に、学習の意図や学習内容を理解してもらい、協力をお願いする。

- ・夜の観察にいっしょに行ってもらう。（懐中電灯を持参、虫さされ防止、雨具の用意など）
- ・夜の活動について注意することを、家庭でも話し合ってもらう。
- ・寒い時期には、子どもの防寒対策を十分にしてもらう。（カイロ、暖かい服等）

○要領よく確かな観察ができるように子どもに指導しておく。

- ・星や星座の見つけ方、星の明るさやならび方、星座早見の使い方を指導しておく。
- ・個人で観察するか、近所の友達とグループで観察するかを決めておく。
- ・観察場所は、夏も冬も同じところでさせる。（比較するときに大切である）

〈記録用紙の作成と書き方の指導〉

- ・自分が立つ位置と向く方向を決めておき、そこからの方位を調べ、記録用紙に書き込ませておく。
- ・自分が立つ位置から見える景色を昼間に描かせておく。

○子どもへの安全指導を徹底する。

- ・夜の活動であり、危険なことが多いということを理解させておく。
⇒そのため、必ず保護者と一緒に行くようにさせる。
- ・寒さ対策、虫対策、雨対策など、子ども自身にも考えさせる。
⇒持っていくとよいもの……懐中電灯、カイロ、虫よけスプレー、雨具
⇒着ていくとよいもの……長袖、長ズボン、ジャンパーなど（防虫対策、寒さ対策）
- ・観察場所は、周りが暗くて観察しやすく、しかも危険性の少ない場所を選ばせる。
- ・観察場所までの行き帰りの交通安全に注意させる。
⇒前もって観察場所までの行き方を知っておく。
- ・健康状態を把握しておく。よくないときは、無理をせず中止させる。
- ・近所迷惑にならないようにする。（大声で騒がない、物を投げない、等）
- ・不審者に注意する。

観察当日にすること

○再度、家庭への連絡と協力をお願いする。

- ・夜、いっしょに行ってもらう。
- ・絶対に、子どもたちだけで行かせない。

○観察場所の確認をする。

- ・暗くないか、けがをしやすくないか、など。

○安全指導の確認

- ・上記の子どもの安全指導の内容を簡単に話し、確認する。

星や月の観察のしかた

● 観察する日までにすること

- 観察する場所を決めておく。
- 観察の方法^{ほうほう}を決めておく。
⇒ 個人で観察するか、グループですか。
- 星や星座^{せいざ}の見つけ方、星や星座のならび方、動き方、記録^{きらく}のしかたなどを学習して、観察できるようにしておく。

● 観察する日に気をつけること

かならず大人と
いっしょに行く。

夜おそくまでかんさつ
しないようにする。

行き帰りは、
自動車に気を
つけようね。

冬には、かぜを
ひかないように
あたたかい服を
着よう。カイロも
持っていこう。

大声を出してさわがない
ようにね。

ふしんしゃには
気をつけよう。

虫にさされないように、
夏でも、長そで、
長ズボンがいいよ。

かいちゅう^{てんとう}電灯を
持ったよ。

みんなとはなれて
一人にならない
ようにしよう。

観察のための
星座早見、
ほういじしん、
記録カードなどを
持ったよ。

足もとにしるしをつけて、
立つ方向をきめておこう。

